

謹賀新年 ～希望の年に～

広報あち

令和5年 1月
2023.1 No.247

- P 2 特集① 屋神温泉出湯50周年
- P 3 特集② 新年企画 阿智村自慢・トリビタ
- P 4 年頭のぞあいざつ 2000年
- P 6 熊谷元一写真賞コンクール
- P 10 12月議会定例会 村長あいざつ
- P 14 未達児保育がさらに充実します
- P 16 阿智村の自慢 ～保育園～
- P 17 阿智村の自慢 ～学校～
- P 18 阿智高だより
- P 19 民生児童委員について
阿智村第6次総合計画後期計画(案)
への意見を募集します
- P 20 戸籍の窓
美しく輝く未来へ

撮影地：富士見台高原の山頂
撮影者：NPO法人 なみあい青遊会 大石純平
渡合の山村留学生と富士見台高原、南沢山と縦走キヤンパを
した際、山頂で心が洗われるような、雲海と日の出が御り合え
ました。

NPO法人
なみあい青遊会

出湯50周年

昼神温泉



愛される温泉地をめざして

村の誇りである昼神温泉が今年11月で、満50周年を迎えます。半世紀の間、南信州最大の温泉地に発展し、地域の観光をリードしてきました。村では感謝を込めて、村民や観光客へのキャンペーンを計画し、さらなる発展に向けた事業を展開していく予定です。昨年、村、観光局、旅館関係者、地域の方で50周年実行委員会を組織し、第1弾は、村民への感謝として、昨年からの村民限定の日帰り入浴券を配布しました。宿泊と日帰りプランを始め、記念ロゴや特設ウェブサイトも作成し、ネットやSNSでもPRしてきます。今後、商業、農業者とも連携し今回を機に新たな展開を図っていきます。11月

には記念式典も予定しています。

昼神温泉の歩み

昭和32(1957)年	国鉄中津川線が調査線となる。
47年12月26日	国鉄中津川線神坂トンネルの試掘に着手。
48年1月14日	国鉄中津川線のボーリング調査中に昼神湯の瀬地籍で温泉が湧出。
48年11月9日	昼神湯の瀬地籍温泉試錐工事開始。
48年11月28日	掘削深度40.2m、32.5℃の温泉が200L/分湧出。
50年6月23日	昼神温泉開発のため阿智開発公社が設立される。
51年2月20日	村営保養センター「鶴巻荘」がオープン。
52年8月25日	第2号井掘削開始。
52年11月27日	掘削終了 深度71m、41.9℃の温泉が400L/分湧出。
54年4月1日	身体障害者療護施設「阿智温泉療護園」開設。
56年12月20日	昼神温泉集中管理施設施工。
61年3月8日	第3号井掘削開始。
61年7月10日	掘削終了 掘削深度150m、39.0℃の温泉が80L/分湧出。
63年4月1日	特別養護老人ホーム「阿智荘」開所。
平成3年(1991)年	10月18日 第4号井掘削開始。
3年12月28日	掘削終了 深度800m。
4年1月4日	44.0℃の温泉が450L/分湧出を確認。
19年1月29日	第5号井掘削開始。
19年4月26日	掘削終了 深度1200m。55.4℃の温泉が323L/分の湧出を確認。
28年11月17日	天皇皇后両陛下ご来村・昼神宿泊。
令和2年10月	昼神温泉リニア新時代構想策定。

歴史を語る

昼神温泉郷は昭和48年1月13日、旧国鉄中津川線計画でボーリング調査中に、硫黄の匂いがする温水が毎分40リットルの割合で湧き出たのが始まりで、同年11月に1号井の掘削に成功しました。この地、昼神湯の瀬はかつて雪が早く溶けたりして、温泉が湧いていた所だという説がありました。この調査により、いよいよ本物となったと言われています。その後

権利の問題、村の温泉開発に至るまでの苦労、決断、そして地元の方々の理解により今日の昼神が作り上げられました。昭和49年には「ひるがみ温泉(株)」、50年には「阿智開発公社」などが設立され、民間や行政出資の会社が立ち上がり、第1号の民間による旅館「阿智川荘」、昭和51年2月には村営保養センター「鶴巻荘」がオープンしました。その後、52年には6軒が、63年には5軒が相次いでオープンし、その後周辺観光にも

昼神の朝市

昼神温泉の朝。各旅館から浴衣姿のお客さんが出てきます。足の向く先は温泉郷の中心・昼神温泉観光センター近くの広場。季節ごとの旬の味覚や、阿智村ならではの特産品の数々が所狭しと並べられた名物・昼神の朝市の会場です。有機農法によって作られた新鮮な野菜や手作りコンニャク、漬物などの加工品、イナゴの佃煮、昔なつかしいお菓子、搾りたてのジュースなど。素朴なお土産ももちろん、おばちゃんたちとの楽しい会話も人気の秘密です。

開催時間 4月〜10月/6:00〜8:00
11月〜3月/6:30〜8:00

力が入り、信濃比叡やヘブンスそのはらなど開発発展し、ピーク時には宿泊客が年間50万人となりました。バブルがはじけ、コロナもあり厳しい時代も経験しましたが、最近では日本一の星空、花桃、シフトしていく個人旅行の対応、介護者や障がい者誰もが楽しめる観光地をめざしています。コロナ前の年間観光客数は年間約130万人です。

日本一の星空

平成 18 年、環境省のコンテストで日本で最も輝いて見える場所の 1 位を取りました！平成 29 年にも環境大臣賞を受賞。



「花桃の里」日本一

阿智村には 3 色に咲き分ける 1 万本の花桃が植えてあり、標高差があるため約 1 か月間村のどこかで楽しめます。



昼神温泉郷

全国温泉ランキング第36位！甲信越第2位
PH 値 9.7 の良質な温泉は美肌の湯と言われています。
出湯 50 周年。



「東山道」

源氏物語に登場する園原、ははきぎは万葉の歴史。来年の大河ドラマ登場？

「りんご」

阿智のりんごは栽培長野県の最南端。最も長く木になり甘く美味。

女性の平均寿命 南信州第1位 県3位

全国でも23位と大変優秀です。



清内路の花火

300年余続く伝統花火は県の無形民俗文化財。
長野オリンピックフィナーレを飾りました。



大豆、みょうが

南信州の70%を阿智村で生産、出荷しています。浪合とうもろこしも甘くてブランド。

「巨木」

南信州にある自慢の3本！
神坂神社の日本杉・中関の大杉・清内路のミズナラ



天皇皇后両陛下御来村

平成28年11月、満蒙開拓平和記念館・昼神温泉にお越し頂きました。



ギネス記録2つ

令和元年 同時に天体観測を行った最多人数 2,640 人
令和 3 年 折り紙で作った星の数の展示 44,136 個

2,180 日を更新

村内交通死亡事故ゼロ (令和3年12月末現在)。
歴代最長 更新中。

アウトドア

星の見えるキャンプ場として人気。富士見台他、登山人気。



年頭のごあいさつ

謹賀新年「明るいな年へ昼神温泉出湯50年へ」



阿智村長 熊谷 秀樹

あけましておめでとうございます。
新年を迎え、村民の皆様方におかれましては、令和5年の新春を健やかに迎えになったことと思います。本年も村民の皆さんが幸せで健康に過ごせるよう、そして村の発展を願い努力して参る所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

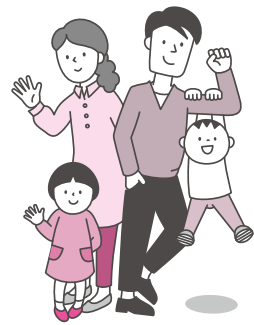
さて、国内では、依然として続く新型コロナウイルスの対応に未だに苦しめられています。が、このところの感染拡大により、村民の皆さんには、引き続き、コロナ予防のため日常の生活にご協力頂き、ありがとうございます。そして、今までも楽しみにしていた村の行事が中止や縮小せざるを得なくなり、皆さんに残念な想いをさせてし

まった事等、ご理解頂いた事に深く感謝申し上げます。

又、ロシアの侵攻による原油の高騰により、エネルギーや物の価の高騰は、私達の生活に大きな影響を与えています。阿智村においては、村民の皆さんが安心して暮らせるような、しくみ、補助制度など対応させて頂いていますが、本年も状況を見ながら施策を考えて参りたいと思っております。よろしくお願いいたします。

少子高齢化の中で、当村では現在生まれてくる子供が年間約40名です。この事も様々な定住施策を打ちながら、村の将来像の中で「阿智家族」を謳っていませんが、喜びも悲しみも村全体でわかちあい、人の事を想い、気遣い、子供達にはどんな形でもいいのでいつかは村を支える人材

になって欲しいというメッセージを、もっと強く皆で発信していかねければと思っております。



さて、本年は、昼神温泉郷がちょうど出湯50周年の節目の年であり、この1月から来年3月までをお祝いキャンペーンとして、村民の皆さんや観光客に、歴史を知ってもらい、さらに愛してもらい、これからの発展に向けて、イベント事業など企画して参りたいと考えています。昨年秋季より無料入浴キャンペーンが始まっていますが、ロゴマークも決まり、各産業との連携、11月には記念式典を開催予定です。

そして、本年は第6次基本構想後期計画のスタートの年でもあります。今までの5年間を振り返り、次の5年間に向けて、伸ばす点は伸ばし、修正すべき点は修正し、1年間かけ住民の皆さんの意見を聞いて参りました。特にコロナ禍で村の計画も、各地域も予定通りいかなかった点を

修正し、新しい価値観、生活スタイルを鑑み、リ・スタートして、4月には皆さんへ概要をお配りする予定になっています。

又、ウイズアフターコロナの村の方向性を示す中で、住民の命、健康を第一に考え、例えば医療機関に向かう送迎の検討、奨学金制度の充実と、村に将来帰って就職すれば、奨学金返済一部免除などの定住施策、教育、健康福祉、産業など全ての政策も時代に応じた改革を検討していかなくてはなりませんし、リニア時代を迎えたまちづくりにも重きを置き、スケジュール感を持って進めて参りたいと思っております。

阿智村には、星空を代表する都会の人達が涙を流して感動する四季の素晴らしい景色があります。こんなステキな阿智村のさらなる発展を願い、新型コロナの完全なる終息を願い、明るい話題が多くなり、今年1年の皆様のご多幸とご健勝を祈念致します。年頭のごあいさつと致します。本年もどうぞよろしくお願い致します。

年頭にあたり



阿智村議会議長

吉田哲也

令和5年がはじまりました。みなさま、新年あけましておめでとございます。本年もよろしくお願いいたします。

令和の大問題であるコロナ禍ですが、感染者の数は依然高い状況ではあるものの、行動制限のない日々が続くなか、混乱の様相は少しずつおさまる傾向でしょうか。基本的な感染症対策についての注意は払わなければなりません、良くも悪くも身近な存在になってきました。これがウイズコロナ時代の入り口なのでしょう。マスクはまだ当分必需品であり続けると思いますが、マスクをつけるべき場面は一層明確になってくるのではないのでしょうか。

こうなると、経済をまわすことに注力していきたくところですが、消費者に直撃しているのは物価高。エネルギーも食品も、生活に必須なものが軒並み高騰

していることが経済再生のばねを鈍らせている状況です。物価高に加え、どの産業も担い手の確保に頭を悩ませる時代になってきました。

令和5年は卯年ですが、本来の干支でいうと癸卯（みずのと・う）です。癸卯には、「これまで（う）の努力が花開き、実り始めること」と「おわりと、はじまり」といった意味があるそうです。令和に入ってからずっと苦しんできたコロナ禍やウクライナ情勢等による物価高騰を思うとき、苦しい時期がおわり、今までの苦勞が実となって、よいスタートが切れる年になったらいいですね。干支ひとつでも縁起のいい話題は、心が元気になります。

ロッパの強豪ドイツ、スペインを下した日本のゴールは、多くの人の心を感動させました。またアルゼンチンとフランスの決勝は、スポーツが確かに人の心を揺さぶる力を持つことを、至上のパフォーマンスで示してくれたと思います。それは何も遠い国の出来事だけではなく、阿智村駅伝に出場した選手たちの激走からも、同じ思いがしたものです。

一隅を照らす、という言葉があります。一隅とは、今、自分がいるその場所、その立場においてベストを尽くすことで、自らが光となり、明るい社会をつくりましょう、という意味で、ご存じの通り、天台宗を開いた伝教大使・最澄の言葉です。チームスポーツの感動を思う時、私はいつも、この言葉を思い出します。チームスポーツの感動とは、究極には勝った負けたではなく、一隅を懸命に照らし続けている人の姿を目の当たりにするところにあるのかな、と思うのです。

「一隅を照らす」という言葉は、「山家学生式」の冒頭にあります。この書は、伝教大師が人々を幸せへ導くために「一隅を照らす国宝的人材」を養成したいという熱い想いを著述され、嵯

峨天皇に提出されたものですが、その中に「国宝とは何物ぞ、宝とは道心なり。道心有る人を名づけて国宝と為す」という言葉を見つけることができます。道心とは道を修めようとする心です。もちろん宗教的意味合いも「道心」という文字に込められています。ここは「善く生きようとする心」と捉えなおしてもいいと思います。この道心をもって生活することができる人が国の宝であると示されています。一隅を照らすその光が、このような光であれば、それは宝物なのだ、というのです。

一年の始まりの日ですから、みなさんそれぞれ、今年の目標を考えられていることでしょう。そんな中で私も、改めて一議員としてまた議長として、懸命に一隅を照らせるよう、努力してまいります。

昼神温泉新時代事業、わいわい運動公園事業、リニア新幹線盛土問題、村の人口減少と働き手不足、公共インフラの維持、森林資源の利活用と山の管理、産業振興等等課題は山積しています。村と、また議会の中でも十分議論し、阿智村の未来をつくっていく責任を果たしていきたいと思っております。

第25回

熊谷元一写真賞コンクール

テーマ
「ふれあい」

膨大な農村記録写真を残した阿智村出身の写真家、熊谷元一氏の功績を称え創設された「熊谷元一写真賞コンクール」が第25回を迎えました。今回のテーマは昨年引き続き「ふれあい」です。応募点数685点から32点の入賞作品が決まりました。

入賞一覧

テーマ部門

元一写真大賞

阿智村賞

信濃毎日新聞社賞

J Aみなみ信州賞

優良賞

飯田信用金庫賞

入選

阿智村撮影部門

阿智村輝き賞

10点

10点

6点

2点

掲載写真

・上位6作品

・村内受賞者



▲元一写真大賞「成長を願って」 広田和夫 山口県宇部市



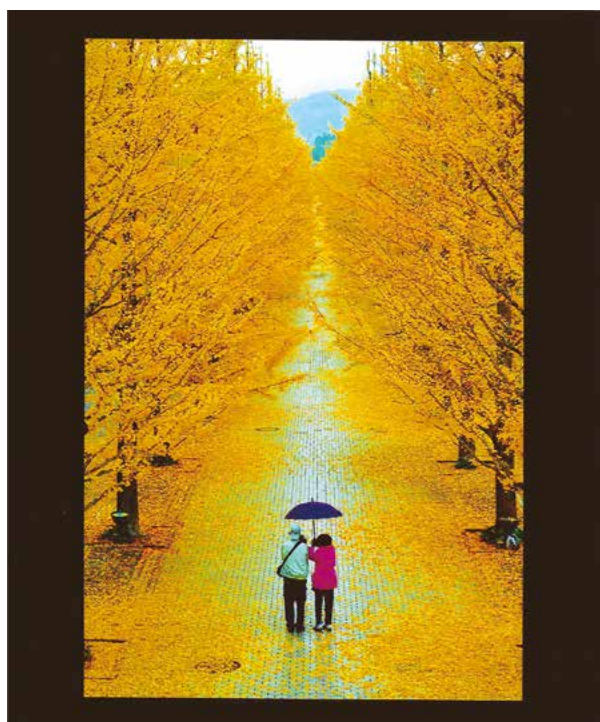
▲阿智村賞「新学期」 斉藤延子 香川県観音寺市



▲ JA みなみ信州賞「栗の皮むき」
白木勇治 京都府福知山市



▲信毎賞「カナヘビと少年」 島岡章一 長野県飯田市



▲優良賞「秋雨の中で」 鈴木彦三 福島県福島市



▲優良賞「コリー犬の得意技！」 千田 久 岩手県奥州市



▲飯田信用金庫賞「二人でひとつ」
原 愛咲 長野県阿智村



▲入選「ぼく1才、ひいじいちゃ80才」
中島敬子 長野県阿智村



▲飯田信用金庫賞「真剣勝負」
井原 楓 長野県阿智村



▲飯田信用金庫賞「お気に入りのかさと一緒に」
園原志織 長野県阿智村



▲阿智村輝き賞「まり遊び（誕生祝）」
中島敬子 長野県阿智村



▲阿智村輝き賞「下校前」 稲垣孝光 長野県阿智村



▲阿智村輝き賞「市田柿のへた切り」
實原保正 長野県阿智村



▲阿智村輝き賞「木賊獅子」 中田大慈 長野県阿智村



▲阿智村輝き賞「満開の花もも」 實原幸代 長野県阿智村



▲阿智村輝き賞「夜の御所桜」
大石純平 長野県阿智村

【総評】

なかなか収まるところを見せない新型コロナウイルスに、もう一度同じテーマに挑戦していただこうと昨年と同じテーマ「ふれあい」。

全国から223人、昨年より微減の685点の応募がありました。前回に見られた介護現場の作品が影を潜め、被写体が家族中心に偏る傾向が見られました。審査員からは「肖像権や個人情報が多かった」「もっと動植物など人間以外のふれあいを見たかった」などの意見が出ました。人物撮影には、クリアしなければならぬ課題はあるものの、多岐に渡る被写体の発掘、もっと自由奔放な表現、作品が期待されます。

昨年同様にカメラ目線の記念写真的な作品が目立ちました。しかし、上位

には家族でも親子のちよつとしたしぐさ、お祭りや行事、イベントの中の表情を捉えたものなどシャッタータイミング、背景処理、構図などが適切な作品が選ばれました。

阿智村内撮影部

門は、ハナモモや紅葉の風景からお祭り、祝い事など引き続き多彩な作品が寄せられ活況でした。この数年の傾向で、さらなる新鮮な阿智村が出てくることを期待します。毎回の提言の繰り返しですが、身近なところにカメラを向けた熊谷元一先生のように、もっと村内に暮らす人たちの生活、日常の「今」を切り取った作品作りにも挑戦してみてください。

高校生以下の部も、今回を含めここ2、3年さまざま素材の応募があり、よい方向へ向かっていると感じました。人物スナップや風景を絡ませたもの、影や指などを被写体にした作品など若者らしい新鮮な感覚で捉えた作品が多く見られました。この部門は「高校生以下」です。高校生のみなならず、小中学生をはじめとした低年齢の子どもたちの作品が出てくることを期待します。

次回(第26回テーマ)
「まつり・行事」

次回のテーマは「まつり・行事」とします。

日本全国には、諏訪の「御柱祭

や秋田県の「なまはげ柴灯まつり」など日本三大奇祭と呼ばれる著名な祭りから、神代の昔から伝説に残る祭り、地域で細々と受け継がれている祭りなどさまざま祭りが数えきれないほど存在します。

時代を超え、姿を変え継承されて来たお祭りに足を運んでください。躍動、壮観、迫力などのほか祭りを支える人たちや見物人なども対象です。

一方、祭りと似たような部分もある行事。家庭で、地域で行われる年末年始やお盆の催し、お誕生、お食いの初め、七五三などのお祝い事：素材は身近に盛りだくさんです。

元一先生も学校現場の子どもたちのほか、村内の行事や風習なども数多く残されています。今一度、その原点に立ち返り、「今」を記録する意味を重ね合わせ取り組んでみてください。

このテーマは、このコンクールはじめて多くのコンテストに数多くの作品が登場しています。「こんなお祭りが、行事があります」という紹介作品から一歩抜け出た、狙いが明確なオリジナル作品を期待しております。

熊谷元一写真童画館

電話 0265(43) 4422

12月議会定例会

あいさつ



阿智村長
熊谷 秀樹

(はじめに)

12月定例議会に際しまして一言ごあいさつ申し上げます。

今年もあと1ヶ月となり、師走の大変寒く忙しい時期となりました。今週に入り急に寒くなってきた事もあり、スタッドレスタイヤに替える方も多くなりました。

さて、9月から11月にかけて、コロナ禍で中止になったものもありましたが、当村では少しずつ行事やイベントが復活してきました。商工祭は中止になったものの展示や芸能発表など多くの村民の皆様楽しんで頂いた阿智祭、コースを変えて2回目の第53回阿智村駅伝大会、村政功労表彰式、戦没殉難者慰霊祭、村民星空観賞デー、植樹祭、熊谷元一写真賞コンクール表彰式、中学生新人大会での活躍など、皆さんがそれぞれの会場でお会いすると、元気で活躍する姿は大変うれしく思いました。

村では11月に8か所の地区懇談会

を開催し、来年度の事業計画予算と

第6次総合計画後期計画を中心に意

見を頂きました。近年の時代を反映

してか、コロナの対応の事、災害の

事など中心でありました。又、どの

地区においても共通に出た問題が、

地域の集落維持をどうしていくか、

そして山の手入れの事、里山整備に

ついてでした。少子高齢化が叫ばれ

長く経過した今、現実には草刈りがで

きない、地区の役員が多すぎて受け

られないといった、切実な問題が出

ています。村としても、地域と共に

解決方法をさぐり一緒になって対応

して参りたいと思っております。里山

整備も所有者の山林への関心離れも

要因ですが、村の中に整備をしてい

こうとする団体が多くなってきた事

で、なんとかいい方向に進んでいけ

ばと思っておりますし、森林環境譲与

税の使い道の有効活用をしっかりと

て参ります。

各団体の意見もまとめ、

計画の素案を持って、2月

には再度各地域を回る予定

になっていきます。

(村の状況)

さて、阿智村ではこの3

か月の間に様々な出来事が

ありました。

主なものをいくつか述べ

させていただきます。



清内路地区不動滝

10月1日からリニア整備対策室の拡充を行い、専任の整備対策室長を配置し、係長との2名体制でリニア関連の仕事に対応する事としました。

清内路地区では、国道から斜坑ま

での村道1-20号線の工事が始ま

り、現在は計画中のクララ沢発生土

置き場の安全性について、JRに対

し村から要望書と質問事項を提出し

てあります。回答については岐阜大

学の学識経験者や、県などの意見を

参考に不明な点を考察していること

です。少なくとも村として、納得

のいく回答を得られた後に、住民の

意見をお聞きする機会を設けていきます。又週に2日、清内路振興室に対策室職員を1名常駐させ、住民の皆さんに寄り添い、悩みや相談に対応していきますのでよろしくお願ひ致します。

広域的な事業展開として、阿智、

平谷、根羽の西部3村で、10月中旬

に「南信州フォレストパーク」とし

て、森を中心に様々な事業を展開し

ていく取り組みを始めました。県の

元気づくり支援金を活用して「すべ

て、森にある」をキャッチコピーと

して、森から生まれる川や水、空気、

星空、里山の整備、人々の生活を大切にし、まずは本年度は3村のそれぞれの取り組みを特にSNSで若者にPRしていてもらおうとするものです。いわゆる西部3村の内外へのイメージ戦略です。巨木の写真コンテストも行っていますし、来年以降は共通するそばやとうもろこし、森の名物料理等にスポットを当て、展開していく予定です。

教育関係では、11月29日に中学1年生を対象にキャリアメッセを開催しました。商工会や地元企業11事業所にご協力いただき、体育館にブースを設け、それぞれに仕事の内容や働くことの意味を説明していただきました。生徒達は自分の希望するブースを回り、阿智村にどんな企業があるか、大人になった時どんな仕事に就きたいかなど、勉強になったと思います。中学生のうちから地元企業を学び、将来地域を支える人材になってくれる事を期待し、今後さらなる力を入れていきたいと考えています。

将来の子供たちが健やかに育つため、経済的に苦しくても大学等に進み勉強に励む事ができるように、阿智村名誉村民の後藤正さんのご寄付を財源に「後藤育英基金」が創設され、11月25日の臨時議会で奨学金として貸与制度を設置する条例が出来ました。無利子で借りることが出来る奨学金で、返済期間も長く設定してあります。来年の進学希望の方から運用して参りますので、是非多くの方にご利用頂きたいと思います。

又本村に定住し、地元就職すれば奨学金の返還額の一部を支援するという制度も来年からスタートします。なので、合わせて有効に活用願います。

11月28日に開催された第53回阿智村駅伝大会では、28チームが参加し、好天のもと気温も高めで賑やかに開催できました。ランナーのバスでの移動やスタッフの人数が多かったことから、昨年より密にならないよう工夫し、役場と中学を周回するコースに変更させて頂きました。南信州地域の中でも53回という伝統は、天龍村の梅花駅伝と共に歴史があり、走る人、支えるスタッフ、応援する人

が一体となった、今や阿智村の最大のイベントとなりました。多くの皆様に支えて頂いているリニューアルしたこの駅伝大会が長く続いて、さらなる絆が深まるよう期待したいと思います。

保育園の関係ですが、未満児の子供を預けている方が、二人目等の子供を出産し育児を取っている期間でも、上の子供さんを預ける事は可能とし、子育て支援を図って参ります。保育士等の人員体制の事もあります。保育士等の人員体制の事もあります。保育士等の人員体制の事もあります。保育士等の人員体制の事もあります。

民生関係では、11月19、20日と健康フェスティバルを開催させて頂きました。大変好評で予約でいっぱいとなり150名の方に参加頂きました。歩き方のチェックやストレッチェック、野菜の摂取具合など気軽に自分の健康状態を確認する事ができ、生活習慣をどのように送ったらよいかの目安ができました。コロナでできない状況が続いてましたの

で、久しぶりに開催され、又知り合いの方と健康について話をする機会もできた事で、来年もお願いしたいとの多くの声を頂きました。

農業関係では、4月から始まった農業機械購入補助金の申請が好評で、この10月までの半年間で26件と当初予算をオーバーする申し込みがありました。利用された方によると、農業機械もなかなか高額で躊躇していましたが、この補助制度により、機械を導入する事で新しい分野の農業作物を展開する事ができ、意欲も高まってありがたかったとお礼を頂きました。今回の補正予算で追加をお願いする予定になっています。

現在のコロナ禍や原油高騰における経済状況は、商工会によりますと、製造業者の皆さんからは、コロナ禍ではあるが海外にシフトできなかった面もあり、引き続き人手が足りず大変困っているとの事。小売業、飲食業は、3ヶ月前に比べ横ばいとの事です。忘年会シーズンで予約は昨年より多いが、これからのコロナ禍

の様子で心配との事で、原油高騰により、運送業はもちろん、重油等で機械を動かす製造業者の打撃は大きく、厳しい状態が続いているとこの事です。

観光業は、紅葉のトップシーズンという事もあって、全国観光支援の効果もあり、好調の声を頂きました。しかし、コロナ禍前の同時期に比べれば8割程であります。現在、昼神温泉出湯50周年の記念事業の委員会を立ち上げ、計画しています。これからキャンペーンや、農商工との連携事業、歴史を振り返る事業を徐々に展開し、併せて大きな効果となるよう期待したいと思えます。

農業は、生産量、売上げは横ばい。原油の高騰により、ガソリン軽油等使う農機具の燃料代は高く、何かしら対応したいと考えています。

ハローワークの求人倍率は現在、1.58倍です。地域全体では好調な状況ですので、人手不足の解消に、知恵と工夫で企業側の対応も重要であります。

このような状況のため、現在、10

月から始まった、原油等エネルギー高騰対策のため、電気、ガソリン、ガス等の使用料3か月で最高、個人で10万円、法人で30万円の補助金を12月使用分までとしてありますが、これからも心配だという声も聞きますので、延長という方法も考えながら、事業所の皆様にはこの冬を乗り切っていただきたいと思えます。又、詳細については提案させて頂きたいと思っています。

今年第25回の熊谷元一写真賞コンクールの表彰式を熊谷元一写真画館で開催しました。テーマは「ふれあい」で、今年も全国から223人685名の応募がありました。全国規模の大きなコンクールとなりましたので、年々レベルが上がり、力が揃い、大賞に山口県宇部市の広田さんの作品が選ばれました。

元一先生の写真は歴史を振り返るうえで大変参考になり、大変懐かしく、これからの私たちの生き方、日本の進むべき道を考えさせられる事を感じ、記録写真を残していく事の重要性を改めて感じました。来年の

テーマは「まつり・行事」に決まりました。是非とも来年も多くの方に応募頂きたいと思っています。

(議案案件について)

本定例会においてご審議頂く案件について申し上げます。

案件は、人事案件1件、条例案件6件、契約案件1件、予算案件5件であります。

人事案件は、固定資産評価審査委員の内1名が任期満了になりますので、選任について同意を求めらるものであります。

条例案件のうち、

「個人情報保護法施行条例」等の制定については、個人情報の保護に関する法律の改正に基づく条例の制定で、新法の施行に必要な事項を定めるものです。

又、「職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例」の制定については、令和5年度から、段階的に65歳に引き上げるものであります。

契約案件のうち、

「高速自動車国道中央自動車道西宮線と交差する阿智村管理の伏谷橋の撤去に関する協定書」の締結については、工事業者の決定に伴い、契約を変更するものです。

予算案件は

令和4年度阿智村一般会計補正予算第5号は、既定の歳入歳出予算総額に、それぞれ185,551千円を減額して、歳入歳出予算総額をそれぞれ6,189,435千円とするものです。

歳出の主なものは、

ふるさとづくり基金積立金	11,000千円
県議会議員選挙費	7,118千円
生活困窮世帯緊急支援金	5,518千円
個別予防接種委託料	10,240千円
振興作物栽培者支援事業	6,000千円
阿智開発公社事業補助金	10,000千円

生活困窮世帯緊急支援金について

は、県の制度で、電力・灯油・食料品等の価格高騰に直面する生活困窮世帯等へ支援することを目的に、令和4年度住民税所得割が非課税の世帯等に一世帯あたり3万円の補助をするものです。

又、全体的に施設等の光熱費が軒並みアップしており、今回の補正で計上させて頂いていますのでよろしくお願い致します。

以上がご審議いただく案件であります。上程の都度詳しく説明致しますのでよろしくご審議を頂きますようお願い致します。

(おわりに)

令和4年もあと4週間程です。この1年間も結局コロナ禍が完全に終息できないまま、経済再生のアクセスとブレーキを踏みながらの1年でした。ロシア、ウクライナ情勢により物価の高騰などで、世界も日本も安定しない日々だったような気がします。運動会やお祭りなどが中止に

なってしまう、これが何年も続くこと、地域の繋がりが希薄になってしまうことが一番悲しい限りです。

さて、当地域に目を向けますと、信州広域連合では、ご当地ナンバーを実現しようとの機運が高まり、半年前からアンケートを取り方向性を探った結果、概ね賛成との声が約7割であった為、この程「南信州ご当地ナンバー推進協議会」を発足させ、国に南信州ナンバーの申請を行うことを決定いたしました。この地域の登録ナンバー保有台数が、申請条件を満たしていますので進める事になりました。昔から経済界を中心に運動が進められており、順調にいけば令和7年頃「南信州ナンバー」が実現することになりそうです。

又、永年の懸案でもありました南信運転免許センターを、現飯田警察署に併設して設置の方向で、長野県から進める方針を頂きました。創造館を廃止した後の代替をどうするかという課題もありますが、一定の方向性が出たことで少しずつ前に進めることができ、阿智村としてもうれ

しく思います。

リニア中央新幹線、飯田南バイパスや三遠南信自動車道などの交通インフラも要望を重ねながら少しずつではありますが前進しています。それらの開通に併せ、阿智村も昼神温泉の将来構想、わいわい公園の整備、七久里の洞埋め立てによる開発構想、各地域の後期計画など、まちづくりの構想も進んでいます。多くの方に関わって頂き、意見を頂きながら進めて参りたいと思っています。

最後に、12月4日、駒場の西上町を中心とする有志の皆さんが約1年かけ城山を整備してきた中で、間伐や遊歩道のめどがたちましたので、地区住民他約50名が参加し、桜やみじ600本を植樹しました。まさに住民活動による地域づくりです。10年後30年後に必ずや城山が生まれ変わり、地域のシンボルとなることでしょう。

以上本会議に上程いたします議案等について申し上げます。安心で

夢のある地域に向かって一緒に進んでいい村作りにまい進していきますようご協力をお願いしてあいさつとさせて頂きます。どうぞよろしくお願い致します。

議員の皆様にとっては規約による組織変更後初の議会ということですから2年間、お世話になりますと共に、村の発展のため、村民の幸せのため行政と議会が車の両輪のごとく前に進んでいけるようよろしくお願い申し上げます。



神坂神社

働くお父さん・お母さんを支援

未満児保育がさらに充実します

① 育児休業中も未満児保育が利用できます。

令和5年度より、阿智村では育児休業明けも就労が継続されることを条件に、未満児で保育園利用を希望される場合、それまで未満児保育に預けていたお父さんは、引き続き保育園利用が認められるようになります。

これまで、未満児で保育園を利用していた保護者が育児休業を取得した時は、一旦退園し、育児休業が明けるときに再度入園していました。年齢的にも一緒に遊ぶ相手を求める年齢になり、子ども同士の関係について残念に思う保護者の声や、保育園へ行かなくなる子どもたちの生活の変化が子どもに与える影響など懸念する意見もあり、また、

生まれたばかりの乳児を抱えたお母さんの育児負担の軽減を図るためにも、育児休業中に保育園利用ができるように制度を整備しました（左記参照）。もちろん、家庭と一緒に過ごしたいという希望の方は、家庭保育もできます。育児の選択肢が増えたといえます。

子ども・子育て支援法

施行細則（抜粋）

第3条第2項

施行規則第8条第6号及び第12号の規定により市町村が定める期間は、育児休業に係る子どもが満1歳に達する日における保育を希望し、申込みを行っている場合において、当該育児休業に係る子どもが1歳に達する日（当面その実施が行われない時は、当該育児休業に係る子どもが2歳に達する日）の属する日の月末までの期間を限度とする。



共働き夫婦の増加により未満児保育の希望が増加しました

② 智里東保育園に未満児棟を増築します。

年々増加する未満児保育の要望にこたえるため、今年度、3、400万円をかけて智里東保育園へ未満児棟を増築し、併せて、手狭となっている隣接の駐車場も800万円で舗装整備をします。

平成23年にあふち保育園が開園し、0歳児からの受け入れができるようになりました。しかし、社会の変化に伴い、少子化ではありますが未満児の入園希望は年々増

加しています。各保育園にて未満児の受け入れ定員を増やしてきましたが、環境が良かったためか、あふち保育園を希望される保護者が多いのが現状でした。今回、智里東保育園に冷暖房完備の未満児専用棟を建設して、約10名未満児を受け入れます

子どもたちは、日々変わっていく建物や大きな機械の動きを、興味津々で眺めていました。9月には今では珍しくなった上棟式に参加し、建物の完成と働く皆さんの安全を祈願しました。竣工は令和5年3月10日の予定です。



新たに未満児棟を増築する智里東保育園



屋上からの餅投げに園児も喜ぶ上棟式（9月）

③「手ぶらで登園」を めざそう

紙おむつの回収・サブスク

今まで未満児で保育園を利用する場合は、着替えと一緒におむつを持参してもらいました。おむつ一枚一枚に名前を記入してもらい、保育園ではそれぞれ間違えないようおむつ替えます。使用した紙おむつは、家庭で用意した蓋付きバケツに入れ、降園時に保護者が持ち帰り家庭で処分してもらっています。

保護者、保育士それぞれの負担を減らしたい、また、おむつを衛生的に処分したいという願いから、本年4月より村内全保育園で紙おむつは家庭に持ち帰らず、保育園で処分します。臭い等衛生上の問題、回収費用の発生など検討する課題もありますが、全園で実施できるよう新年度に向けて準備を進めています。

現在あふち保育園で紙おむつのサブスクの実証実験を行っています。サブスクとは月額定額で受けられるサービスのことで、紙おむつとお尻拭きが定額負担で使い放題となるサービスです。紙おむつは保育園で必要量を注文し、直接保育園に届きます。保護者はおむつを用意したり、紙おむつ一枚一枚に名前を書く負担がなくなります。利用料は自己負担になります。働くお父さん、お母さんの忙しい朝の一助になると思います。実証実験で保護者にも保育士にも負担が減ったことが確認できれば、こちらも村内全園で導入していきたいと考えています。



サブスク実証実験中の紙おむつが並ぶ未満児トイレ

長野県版

省エネ機器・設備 編

ワンツース

省エネアドバイス

電化製品を買うときはこのラベルをチェック！

対象器具
エアコン、テレビ、電気冷蔵庫、照明器具、電気便座、電気冷凍庫

省エネ性能 ★★★★★ 4.5

★の数が多いものを選ぼう

省エネ基準達成率 124% 年間消費電力量 254 kWh/年

数字が大きいものを選ぼう

この製品を1年間使用した場合の目安電気料金 6,860 円

マークが緑のものを選ぼう

目安料金の安い製品を選ぼう

お店で統一省エネラベルを見て製品を選びましょう



阿智村の自慢

～保育園～

村内6つの保育園の様子を紹介します。
元気な子どもたちをご覧ください。



あふち保育園

「たのしいゲーム屋さん」開店です！



智里西保育園

雪の中で鬼ごっこ！今年もいっぱい積もるかな？



伍和保育園

花組だけの新聞プールで遊んだよ



浪合保育園

みんなでツリーを作りました。
つくし組さんも一緒に「メリークリスマス!!」



智里東保育園

クリスマスパーティーとっても楽しかったよ



清内路保育園

地域の方からもみの木をいただき、
みんなでクリスマスを楽しみました！

阿智村の自慢

～学校～

阿智村の子どもたちの学校での様子を紹介します。



伝統の独楽まわし大会では、お家の方が参観される中、令和の記録を塗り替えようと、自分の作った独楽を、子どもたちは一生懸命回しました。回すのが難しい「たたきごま」に3・4年生の子どもたちは奮闘していました。（阿智第一小学校）



11月10日、秋晴れの青空の下、マラソン大会を実施しました。当日は、連学年ごとに時間をずらしてスタート。2～3.5 kmのコース沿道では、多くの声援をいただき、精一杯の力で走ることができました。（浪合小学校）



11月9日「やきいも大会」しっぽとりやじゃんけんのゲームを思いっきり楽しんだあと、なかよし班でやきいもを食べました。6年生が全校児童のために準備をしてくれました。ありがとう。（阿智第二小学校）



清内路小学校の活動の一つ「たたきごま作り」。山に入って「自分がこまを作りたい木」を探し、生きた木を切り倒す。そこから始まる子ども達のこま作りは、地域の皆さんにしっかりと支えられながら、愛着のこもる「自分だけのこま」になっていきます。（清内路小学校）



第三小の冬の風物詩「おやす・しめなわ・へいそく作り」。地域からの講師として、高齢者クラブやグリーンファイブの皆さんを迎えて、5年生の育てた稲わらを使って作りました。高学年の児童が、低学年の児童へ作り方をていねいに教えていました。（阿智第三小学校）



12月12日(月)第二回生徒総会が行われました。3年生中心に取り組んだ本年度の生徒会活動も締めくくりを迎えました。3年生の顔ぶれを見ていると、生徒達が躍動した場面ひとつひとつが走馬灯のようによみがえってきます。「ありがとう。お疲れ様でした」誰もがそんな思いを持っています。生徒会を引き継いだ2年生を中心にした生徒達が、伝統ある阿智中の生徒会を次のステージへとつなげていくことに期待します。（阿智中学校）

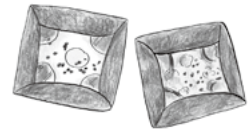
阿智高だより

vol.76

あけましておめでとうございます。いつも本校の活動に様々な形でご協力いただきまして、心よりお礼申し上げます。本年もどうぞ、よろしくお願いいたします。

～ 地域政策コース ～

観光エリアでは2年生が智里地区のふれあいロードでクイズラリーイベントを開催しました。また3年生の「ガレット作り」の取り組みが、NHK「あさイチ」で放送されました。イベントや試食会にご参加いただいた皆様、お忙しい中どうもありがとうございました。



福祉エリアでは、近年コロナ禍でしばらく行えていなかった実習を、あふち保育園・伍和保育園、夢のつばささんでさせて頂き、生徒たちにとって大変貴重な学習になりました。農業エリアでも、地元農家の方々のご協力により、柿の収穫体験をさせていただくなど、すべてのエリアで地域の皆様のおかげで充実した学習を続けることができました。本当にありがとうございました。



～ 修学旅行 ～

11月30日(水)から12月2日(金)の3日間、広島・兵庫・大阪への修学旅行を実施しました。原爆ドームや資料館を見学し、広島平和記念公園では、生徒たち手作りの千羽鶴を手に平和への祈りを捧げました。現地へ赴く前にも学校で、被爆者の方から体験談をお伺いしたり、「はだしのゲン」の実写版映画を観るなどの平和学習を行いました。実際に広島を訪れたことで、平和への想いをより強くしました。



～ 生徒の活躍 ～

第25回熊谷元一写真賞コンクールにおいて2名の生徒が、高校生以下の部(テーマ「ふれあい」)で、飯田信用金庫賞を受賞しました。入賞作品は1月30日(月)まで、熊谷元一写真童画館で展示されていますので、是非ご覧ください。



左：「仲間」 1年B組 水上恵汰
右：「真剣勝負」 3年A組 井原 楓

また、3年A組 石原あいさんが「全日本高校生SDGs英語スピーチコンテスト」の約300人の参加者の中、上位に入賞するなど、生徒はそれぞれの場で頑張っています。

民生児童委員の活躍

昨年十一月末で民生児童委員の任期が終了し、十二月より新たに民生児童委員が厚生労働大臣より委嘱されました。(任期は二年間)

民生児童委員は「社会福祉の精神をもって、常に住民の立場に立つて相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める」ことを職務とし、子育て家庭から高齢者の方まで、誰もが暮らしやすい地域社会をつくるため

阿智村民生児童委員名簿 (敬称略 ◎会長 ○副会長)

担当区域	氏名	担当区域	氏名
七久里、知久保	河合伊津子	大沢、大野、中野、奥藤	奥澤 明子
豎町、下西	折山 忠子	中平、伏谷	○小松 光代
中関下	◎小野 恭志	下平、昼神	渋谷 礼子
中関上、中関団地	熊谷 裕子	戸沢、中央	前田壽和子
砂田、馬場(1組.2組)	玉井かづよ	濃間、園原、横川	熊谷 美晴
木戸脇、伝馬町、馬場(3組.4組.5組.6組)	林 順子	恩田、荒谷	下山みさを
下町、栄町	大場喜代子	宮本、中下町、治部坂	稲垣 恵子
上町、市の沢、大橋、曾山	櫻井あけ美	浪合上町、宮の原、上半堀、下半堀	大川 淳子
古料、下郷、上郷	木下美恵子	(下清一) 市場、清水、川裾	原 錠次
洞、日の入、原の平	園原 弘子	(下清二) 中、登	櫻井 純子
大鹿、青見平、寺尾	熊谷 節子	上一区、上二区、上三区	原 和代
西栗矢、東栗矢	原 幸也	主任児童委員	三浦 陽子
丸山、備中原	井原 里美		櫻井 紀子

に、皆さんの身近なところで様々な相談・支援をしています。

新任委員(敬称略)



阿智村第6次総合計画 後期計画(案)への意見を募集します

村では、第6次総合計画の後期計画(令和5年～令和9年度)の策定作業を進めています。これまでに村政懇談会や計画策定審議会などにおいて審議を行い、計画案を作成いたしました。

つきましては、後期計画の案をお知らせするとともに、次のとおり、皆様からのご意見を募集いたします。

▽意見の募集期間
令和5年1月20日～2月10日

▽閲覧できる場所
・村のエコ(ホームページ)

(<https://www.vill.achi.lg.jp>)
・阿智村役場
▽意見の提出方法

意見様式を村Eコでダウンロード(役場でも配布します)いただき、次のいずれかの方法により提出してください。

電子メール: info@vill.achi.lg.jp
FAX: 0265-43-3940
郵送: 阿智村駒場483番地

〒395-0303 阿智村役場 総務課 宛
総務課企画情報係(内線272)

どうする今年は

年 金太郎



「美しく輝く未来へ」

第36回

ー 来年の大河ドラマに期待 ー

阿智村長 熊谷 秀 樹

あけましておめでとうございます。1月からNHK大河ドラマ「どうする家康」が始まりましたが、令和6年からは、「光る君へ」の製作が約半年前に発表されました。紫式部の一生を描いたもので主役は女優の吉高由里子さん。紫式部といえば源氏物語。源氏物語といえば園原の里、ははき木が登場します。これは東山道が通る阿智村としてはまさにチャンスです。どんなドラマの構成になるかわかりませんが、どこかで少しでも話題になると

いいですね。

これから、各団体や民間の皆さんを中心に盛り上げる運動の準備を下さるようです。皆さんも、これを機に源氏物語や東山道や神坂峠の歴史を勉強するのもいかがでしょうか？運動の展開によっては多くの方のご協力よろしく願います。



発行：阿智村役場 (〒395-0303 長野県下伊那郡阿智村駒場483番地)
編集：協働活動推進課広報係 TEL 0265-43-2220 (代表) FAX 0265-43-3940
E-mail: koho@vill.achi.lg.jp ホームページ <https://www.vill.achi.lg.jp> → QR
印刷・製本 龍共印刷株式会社



私たちの村 (1/1現在)
人口……6,055人
男……2,962人
女……3,093人
世帯……2,332戸